

2026年3月31日
商工中金

**メンマ・総菜を製造・販売する「100億宣言企業」
丸松物産株式会社の飛躍的な成長を金融面でサポート**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の大森支店は、丸松物産株式会社（本社：東京都世田谷区、代表者：松村 大輔）に対し、事業拡大に必要な資金として5億円の融資枠を開設しました。

同社は、「メンマ」の名付け親として知られる食品メーカーです。国内外の自社工場で食品安全認証を取得し、安心・安全な食品を製造しています。

今回同社は、2025年6月に政府の推進する「100億宣言」(※1)を実施。「売上高100億円」という野心的な目標の実現のため、事業計画に基づき企業ごとに融資条件を設計するオーダーメイド型のコミットメントライン(※2)を導入しました。同社は、同融資枠を活用し、メンマ製品の生産量の拡大を計画。国内外で高まるメンマ製品の需要を取り込み、更なる事業成長を目指します。

※1「100億宣言」とは、中小企業庁等が実施する、売上高100億円を目指す意欲的な中小企業を支える制度。宣言を行った企業は、補助金・税制の利用が可能となることに加え、経営者ネットワークへの参加、中小企業庁が運営する100億企業成長ポータルへ掲載される。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、同社の強みと財務上の課題、「100億宣言」に基づく成長に向けた目標(KPI)を共有。同社の事業拡大に必要な資金をオーダーメイド型のファイナンススキームで融資するとともに、計画策定支援など成長段階に応じた本業支援を、商工中金グループ一体で提供していきます。

商工中金は、「100億宣言」の達成を目指す中小企業の皆さまの飛躍的な成長を、商工中金グループ一体となってサポートすることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【本コミットメントライン契約(※2)の概要】

コミット総額	5億円
契約締結日	2026年2月27日
特徴	同社の「100億宣言」に基づく事業計画に応じて設定した目標(KPI)の達成状況について対話を通じて共有し、同社の売上高100億円の実現に向けて伴走支援するオーダーメイド型のファイナンススキームです。

※2 コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【丸松物産株式会社の概要】

所在地	東京都世田谷区代田 1-47-2
代表者	松村 大輔
従業員	141名 (2025年6月時点)
資本金	9,800万円
設立	1983年5月
業種	メンマ・総菜の製造、卸



【同社製品】